



Time:13:05時点

※前報:10月4日報 Vol:01

統括部 物流・調達課

今週のTOPIC

中国・欧州による電力危機に伴う原油確保の動き。OPEC+政策維持により80ドルは底堅い

■ [10月CP] プロパン: \$800 (前月比+\$135)、ブタン: \$795 (前月比+\$130) ■ [9月MB平均]: \$673 (前月比+\$96)

エネルギー市場

原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI	81.70	75.61	+6.09
北海Brent	84.28	79.04	+5.24

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 11月	855	+25	123%	▲13%
MB 10月	770	▲6		

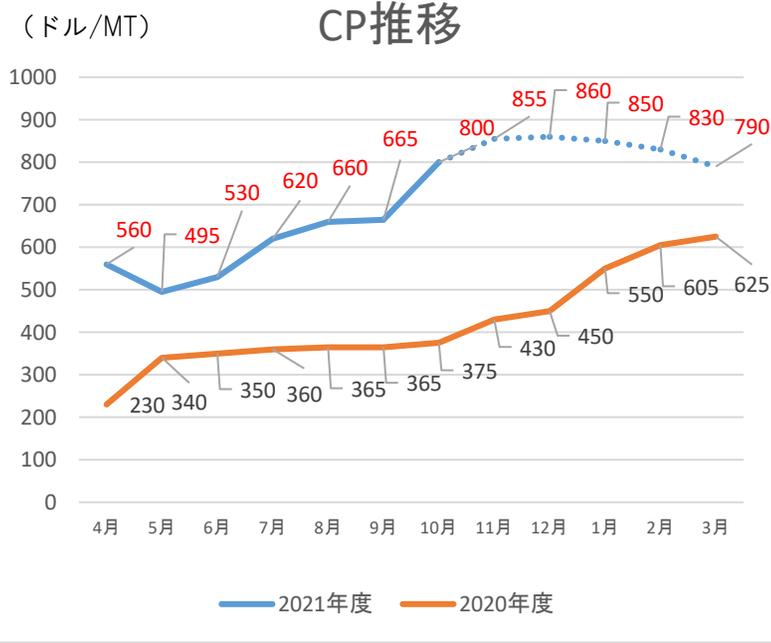
プロパン	12月	1月	2月	3月	4月
CP先物	860	850	830	790	740
プロパン	11月	12月	1月	2月	3月
MB見通し	775	772	766	742	679

外航フレートSPOT (USD/MT)	今回	※前回	前回比		
中東-日本	50.5	45.5	+5.0		
米国-日本 (パナマ運河経由)	84.5	81.0	+3.5		
為替/TTS	10月予測	9月	8月	7月	
USD/円	20日	113.00	110.91	110.88	111.52
	末日	114.50	111.17	110.85	111.31

LPG元売り11月改定幅予想値 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ: +12,640~+13,240	+11,340~+11,940
ENEOSグローブ	改定レンジ: +13,600~+14,200	+12,370~+12,970
アストモスエネルギー	改定レンジ: +13,630~+14,230	+12,370~+12,970
ジクシス	改定レンジ: +13,700~+14,300	+12,370~+12,970

マーケット概況

	今回	※前回	前回比		今回	※前回	前回比
NYダウ (US\$)	35,258.61	34,326.46	+932.15	TOPIX (円)	2,028.62	1,971.12	+57.50
S&P500 (US\$)	4,486.46	4,357.04	+129.42	金 (Gold)先物 (US\$)	1,775.35	1,761.40	+13.95
米国債券10年利回り (%)	1.577	1.474	+0.103	VIX恐怖指数 (%)	16.31	21.15	▲4.84
日経平均 (円)	29,257.90	28,415.11	+842.79				



当レポートの内容は伊藤忠エネクス株ホームライフ部門 統括部/物流・調達課の発行日における見解を記したものであり、その正確性、完全性を保証したものではありません。また本レポートの無断掲載・転送・改変を禁じます。

今週のTOPIC

中国・欧州による電力危機に伴う原油確保の動き。OPEC+政策維持により80ドルは底堅い

原油概況

★米政府による産油国への原油増産要請もOPEC+は政策維持。供給不足は継続。

影響度

強気・
上昇要因



- ① 中国を初め欧州の電力供給不足が深刻化。原油の確保及び天然ガス・石炭価格高騰に伴う原油への代替需要拡大による供給不足継続。
- ② 冬場にデルタ株の再拡大の懸念による原油需要の先行き不安を理由にOPEC+会合は協調減産幅を維持。需給コントロール機能を維持。
- ③ IEAが2021年～2022年の世界の石油需要見通し引き上げ。原油需要増加の見通し。

弱気・
下降要因



- ① 世界的にデルタ株の感染拡大。企業活動の停滞によるエネルギー需要減速を懸念。
- ② 中国不動産会社の社債債務不履行が相次ぎ、中国経済の景気減速懸念。
- ③ 米インフレ長期化に伴うFRBの利上げ早期化による経済失速懸念及びドル高によるドル建て原油価格の割高感。

LPガス概況

★冬場の暖房需要と高値推移を続ける原油の動向によりLPG価格は年末800ドル台を維持する見通し。

(強気)

米プロパン在庫が減少。天然ガス価格の高騰によりLPGへの代替需要増を想定。LPG需給逼迫を懸念。

(強気)

サウジ国内の石化向けプロパン需要及びインドの旺盛なLPG需要が堅調に推移。またラニーニャ現象発生可能性高く、厳冬によるLPG需要の高まり。

(弱気)

中国の電力供給制限により一部のPDH稼働を引き下げ。PDH向け需要の減速。

「ラニーニャ現象とは」

ラニーニャ現象とは太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年に比べて低い状態が一年程度続く現象です。ラニーニャ現象の発生は世界中の天候に影響を及ぼし、日本の天候にも影響を与えることがあります。ラニーニャ現象が発生した場合、日本付近では冬の気温が低くなる傾向があります。寒気が流れやすくなり厳しい寒さや大雪をもたらす地域もあります。